

## 第1回環境モニタリング委員会議事録要旨

【日時】：2024年8月21日（水）13:00～17:10（非公開）

【場所】：石原産業(株)四日市工場総合事務所 第五会議室

### 【出席者】

出席委員

専門委員長 大東憲二

専門委員 片山新太

委員以外の出席者

森本工産株式会社（調査対策協力会社）

石原産業株式会社（事業者）

### 【議事】

#### 1. 議題

- 1) これまでの環境専門委員会の活動について
- 2) 今回の報告概要について
- 3) 全域調査モニタリング結果
- 4) 北西域及び南東域揚水に関する進捗報告
  - ①北西域モニタリング結果
  - ②南東域モニタリング結果
  - ③宙水処理施設の稼働状況
- 5) 土壌地下水汚染の新規対策等に関する報告
  - ①北西域ホットスポット（ヒ素）対策効果
  - ②工場新設と旧工場撤去状況（農薬製造工場撤去）
  - ③工場西側バリア井戸の揚水井追加工事（進捗状況について）

## 2. 議事概要

### 1) これまでの環境専門委員会の活動について

あらたに片山専門委員を迎え、これまでの環境専門員会での活動内容について説明した。

### 2) 今回の報告概要について

- ・ 環境モニタリング委員会の目的や運用と、今回の報告概要について説明した。尚、第 21 回環境専門委員会（2019 年 12 月開催）において、今後もモニタリングを継続し、観察するとしていたトリクレン（2 年間継続して地下水から不検出）に関し、さらに 1 年間モニタリングを継続し、検出されなかったため（計 3 年間）、調査を終了した旨あらためて報告した。

### 3) 全域調査モニタリング結果

資料 1 に基づき、過去 10 年間のデータを用いたモニタリング結果を報告した。1,2-ジクロロエタンは、工場内に設置したバリア井戸の効果により地下水中の濃度の減少が顕著である。

### 4) 北西域及び南東域揚水に関する進捗報告

#### ①北西域モニタリング結果

資料 2-1 に基づき、北西域の汚染（ヒ素）状況、揚水開始以降 10 年間の揚水量とヒ素回収量について報告した。

（専門委員）引き続き、四日市港にひ素が流出しないようにしてください。

#### ②南東域モニタリング結果

資料 2-2 に基づき、南東域の汚染（VOC）状況、揚水量と VOC 濃度の推移について報告した。

（専門委員）また不明点もあるが、上手く VOC 濃度が順調に下がっている。

#### ③宙水処理施設の稼働状況

資料 3 に基づき、宙水汲み上げの稼働状況と VOC 濃度の経時変化について報告した。VOC の供給が無い宙水を揚水することで、宙水中の VOC を減少させることが出来ている。

（専門委員）宙水中の VOC は殆ど回収されていると考えられる。

（石原産業）確認の測定を行う。また、合五の揚水は終了する。

## 5) 土壌地下水汚染の新規対策等に関する報告

### ①北西域ホットスポット（ヒ素）対策効果

資料4に基づき、“汚染拡散防止壁”を用いたヒ素の拡散防止工事のモニタリング結果を報告した。本工事の効果により、ホットスポットからの拡散を抑制することができている。今後もモニタリングを継続し、汚染拡散防止壁の有効性を確認でき次第、他のホットスポットでも同様の工事を実施する予定。

（専門委員）ホットスポット内部のヒ素が吸着され、拡散防止が図られていることを理解した。

### ②工場新設と旧工場撤去状況（農薬製造工場撤去）

資料5に基づき、新たな工場建設予定地について報告した。本建設予定地は過去に土壌汚染が確認され、届出済みの地点である。今回実施した基礎の撤去工事時には地下水で異常は確認されていない。

（専門委員）工事で杭を打つ際に、地下水へ汚染物質が流入しないようにしてください。

（石原産業）杭打ち工法を二重構造にしており、汚染物質が流入しないと考えている。

### ③工場西側バリア井戸の揚水井追加工事（進捗状況について）

資料6に基づき、西側に追加するバリア井戸（WB-1～WB-5）について報告した。より確実に汚染拡散防止を図ることを目的としている。

以上、環境モニタリング委員会の審議はすべて終了した。

以 上